

# 2019年度 事業計画

## 1. 基本方針

わが国においては、少子高齢化が進展し、生産年齢人口が減少している中で、人材を確保していくために、外国人労働者の受け入れ拡大、高齢者の就業促進など労働力不足に向けた取り組みが行われています。働く意欲のある高齢者が、年齢に関係なく活躍し続ける「生涯現役社会」の実現に大きな期待が寄せられています。

神石高原町では、人口が9,100人を割り込み、65歳以上の人口は46%後半に達しており、若年労働者不足は年々深刻になっています。そのため高齢者が現役として果たす役割が益々重要になっています。

シルバー人材センターを取り巻く社会・経済環境は大きく変わってきており、センターの存在意義を高めていくことが、今後の課題となっています。

当センターは、公益社団法人に移行し9年目を迎え、公益認定法による3つの公益目的事業が挙げられており、より高い法令遵守が求められています。

シルバー事業は、『自主・自立、共働・共助』を基本理念に、「生きがいを持って暮らせる地域づくりと会員の前向きな活動」と「社会奉仕活動と高齢者に安心のサポート活動」そして「一歩踏み出す挑戦の気持ちで事業拡大に取り組む活動」を掲げて、身の丈に応じた持続可能な事業展開を行っていきます。

統一テーマ「親切、丁寧、誠実な就業で、地域から信頼され、地域の期待に応えるシルバー」をめざして、地域の活性化に貢献するために、積極的に事業を推進していきます。

そのため、センター事業の基本姿勢である『福祉の受け手から福祉の担い手へ』を合言葉に、多様化する地域における人手不足分野等の取り組みに対応できるように事業体質の改善・強化に努めながら、高齢者として新たな活躍の場の確保をめざして事業実施計画に反映していきます。

## 2. 事業実施計画

### (1) 普及啓発活動《公1》[1] 4 - (1)

○シルバー事業の意義と基本的な理念及び取組み等を積極的に町内へ周知します。

○広報紙「やまびこ」、ホームページ、チラシ等を積極的に活用して、常に「お客さま第一主義」で、シルバー事業に対する信頼と理解が得られるよう努めます。

○町民まつり、各種イベントへの参加により、新規入会者の募集を行うと同時

に、シルバー事業の情報提供と情報収集を行います。

## **(2) 安全就業の徹底・適正就業の推進《公1》〔1〕4 - (2)**

○「安全はすべてに優先する」を合言葉にして、「就業中の事故防止」「就業途上における交通事故防止」の徹底に努めます。

○基本的には「毎月17日を安全の日」と定めて、6月と7月の集中期間を含めて就業現場のパトロールを実施し、猛暑の対応策と熱中症予防を含む安全意識に対する普及啓発に努めます。

○安全就業標語を募集し、優秀作品を選考・公表により、安全意識を共有できる体制づくりに努めます。

○適正就業ガイドラインをより実践するため、雇用とみなされる就業については、就業先の理解を求めて、シルバー派遣事業の活用を図ります。

○長期にわたる就業、本来の契約内容とは異なる就業については、適正就業基準を遵守して適正化を図り、就業の公平および円滑な適用に努めます。

## **(3) 就業開拓・就業拡大活動《公1》〔1〕4 - (3)**

○シルバー事業は、就業機会の拡大が不可欠であり、地域から信頼され、地域に期待されるセンターとして、地域の就業ニーズ等の把握を行うとともに、行政、民間企業、任意団体、法人等と総合的な調整を行い、就業機会の掘り起こしに努めます。

○シルバー事業は、請負や委任の受託事業を中心に就業しており、新たな就業として派遣先の事業所等で指揮・命令を受けて働くシルバー派遣事業の提供も行っています。

○高齢者活用・現役世代雇用サポート事業により、シルバー派遣による就業機会を提供する事業の強化に努めます。

○地域に貢献し地域に期待されるセンターとして、会員・役職員による高齢者にふさわしい1人1就業開拓をめざします。

## **(4) 相談・情報提供《公1》〔1〕4 - (5)**

○入会希望者への説明及び面談に当たっては、シルバー人材センター事業の理念やセンターの制度を十分に説明します。

○毎月第3火曜日に新入会員説明会を設定していますが、希望があれば随時説明会を行ない、高齢者からの相談に丁寧に対応します。

○地域で働く高齢者のためのワンストップサービスセンターとして、高年齢者に、雇用、就業、職業能力開発、ボランティア活動、自営、就農等に係る相談や情報提供を行います。

#### **(5) 社会参加活動の推進《公1》〔1〕4 - (6)**

- ボランティア活動として、希望する高齢者を対象に「できることを」「できる範囲で」を合言葉に、社会参加活動を行います。
- 地域に役立つセンターとして、又、地域に真心をお返しする会員として、「全国シルバーの日の協賛事業実施」「高齢者に対する生活サポート声かけ活動」「通学児童の安全見守り活動」など、地域に貢献できる活動を展開します。
- 地域に密着した防犯パトロール活動により、事故の未然防止に取り組む活動を展開していきます。

#### **(6) 会員拡大の推進**

- 会員拡大は、シルバー事業の根幹をなすものであり、平成30年度から全国レベルで第二次会員100万人達成計画が設けられ、当面は3年間で80万人をめざすことになっています。目標会員数319名と整合を取るために、当センター第3次中期計画の見直しを行っており、会員1人が1人の入会の輪を広げて前向きな入会促進に努めます。
- 継続再雇用が定着している中で、会員確保の対応に苦慮することが避けられない状況ですが、地域を支える立場であり続ける高齢者を増やすことは必要不可欠であり、引き続き、全センター賛同のもと県シルバー連合会としてラジオ放送を利用した入会の呼びかけを行うとともに、会員や役職員と協力して健康で働く意欲のある新入会員の拡大を実現していきます。
- 就業を離れた高齢会員には、「ゴールド会員制度」の周知を図り、ボランティア活動などで就業を伴わない特別会員として勧奨に努めます。
- 女性会員の拡大については、男女共同参画にふさわしく積極的な推進を図ります。

#### **(7) 組織活動(地域班・職群班)の体制強化**

- 地域班及び職群班の充実と連携を図り、地域に根ざした事業展開と発注者のニーズに迅速に対応できる体制強化をめざします。
- 地域班は、会員相互の連帯意識と親睦を基に、センターと会員の連絡体制を整えて、事業効果を高めて地域の発展に貢献します。
- 職群班は、会員の共働・共助を基本に、安全を優先した作業遂行を促進し、事業効果を高めることに貢献します。

#### **(8) 会員の資質向上**

- 地域の信頼に応えるため「愛されるシルバー会員」に加えて、「安全就業は

マナーから」を合言葉に、会員の資質向上に努めます。

○発注者から一層満足いただけるように、現役シルバー会員に限らず、町内の高年齢者全員を対象にした各種講習会への参加を呼びかけるとともに、各種研修会では、個々の知識や技術の向上と資質の向上に努めます。

- ①安全就業講習会 ②植木剪定講習会 ③刈払機講習会 ④施設清掃講習会  
⑤学童保育研修会 ⑥福祉・家事援助研修会 ⑦地域班・職群班研修会

○事務局においても、職員を含めた資質の向上と業務の迅速化、効率化を図り、職員間の情報の共有化とともに、研修会・講習会には積極的な参加に努めます。

### **(9) 安定的財政運営基盤の構築**

○公益社団法人として、「不特定多数の者の利益に供する公益事業の展開」など公益性を重視した事業運営が重要となり、公平・公正・透明性が求められており、財政基盤の明確化や適正な財産管理に努めます。

○効率的な投資、事務経費の節減、消費税率の適正導入、運営費等支出について、分析・検討・見直しを行い、センター事業の安定的な財政運営に努め、関係機関との連携を密にして、効率的で適正な法人運営に努めます。

○第3次中期計画によるセンターの自立的な運営基盤の強化対策を計画的に推進します。

### **(10) 学童保育事業の充実**

○町委託事業である学童保育事業「やまびこクラブ」は、保護者の就労により留守になる家庭の児童が、放課後から夕方までと長期休みの時間を、家庭的な雰囲気の中で過ごすところで、児童の基本的な生活習慣をしつけるとともに、集団生活を楽しめる子供の育成と、遊びを通して自主性、社会性、創造性、協調性を身につけることなどを指導します。

○指導員の情報共有により、安心・安全な保育内容の充実を図ります。

○保育時間延長については、町の子育て支援の方針を考慮して全館において、延長実現に向けた指導員の対応を協議します。

○指導員の研修会・講習会に積極的に参加し、行政・学校・保護者と連携した指導体制の充実を図ります。